公共施設の建替えについて考えてみよう Vol. 5

～ 建替え時期の平準化と最適化 ～

財政管財課　☎(92) 4104
2階⑱番窓口

■扶桑町の公共施設建替え時期の現状

扶桑町の公共施設等（インフラ資産も含む）の管理に関する基本的な方針を盛り込んだ扶桑町公共施設等総合管理計画に「公共施設の長寿命化の目標耐用年数」が示されています。

● **旧耐震基準**（1981年5月以前に建設された建物）… **70年**　● **新耐震基準**（1981年6月以降に建設された建物）… **80年**

この方針のとおり、旧耐震基準の建物を公共施設の長寿命化の目標耐用年数の70年で建替えるとすると、町の公共施設の中で最も古い扶桑町役場を2036年までに建替えるのを皮切りに、2050年までの15年間で下記一覧表の18施設を建替えなければならない状況です。建替え時期の集中を解消するため、平準化の検討をしていきます。

●公共施設建築年代一覧表

	小中学校	児童福祉施設	学習等供用施設	その他
1960年代	柏森小学校　校舎			扶桑町役場
1970年代	高雄小学校　校舎 山名小学校　校舎 扶桑中学校　校舎 扶桑中学校　体育館 扶桑東小学校　校舎	斎藤保育園 高雄南保育園 山名保育園	山名学習等供用施設 高雄学習等供用施設 柏森学習等供用施設	つくし学園 いこいの家 保健センター
1980年代	扶桑東小学校　体育館			中央公民館

■先行して建替える施設

建替え時期は、目標耐用年数（旧耐震基準70年）で計画していますが、目標耐用年数より先行して建替える公共施設の具体化について考えていきます。

＼着目点／ **先行して建替える施設として考えられる施設**

- 統廃合・複合化する施設
- ニーズ変化のため建替えが必要となる施設

➡ 10年後から建替え時期が集中する時期に入ります。平準化するために、18施設のうち少なくても6施設を今後10年間で建替えるのが理想ですが、これから計画し先行して建替らえれるのは、順調に進捗しても1～2施設です。

■建替え時期を平準化するために

先行しての建替えだけでは、建替え時期を平準化しきれないため、公共施設の長寿命化の目標耐用年数を「旧耐震基準、新耐震基準を問わず最大80年」に見直すことを検討していきます。

Q 旧耐震基準建物の長寿命化の目標耐用年数を最大80年に延長することは可能か。

A
- 旧耐震基準の建物についても本町では耐震改修が済んでおり、構造体劣化状況も問題なく、計画的改修により長寿命化可能な施設がほとんどである。
- 他市町村の多くが、長寿命化の目標耐用年数を80年としている。

➡ 最大80年への延長を検討することは可能である。

■建替え時期及び長寿命化改修工事の最適化

最適化とは、以下に着目して効率よく建替えや長寿命化改修工事を実施してくことと考えています。

＼着目点／
- **建替え面積の縮減が見込まれる施設** ➡ 縮小しての建替えが可能となる時期に建替える。
- **長寿命化改修工事の時期** ➡ 経年で機械的に割り振るのではなく、屋上防水、外壁、トイレ等の水回りの劣化進行具合や残存期間を考慮し優先順位を付けて計画する。

■次回は　「扶桑町役場の建替え」について考えていきます。

■今回の記事についての ご意見・ご感想は

こちらから受け付けます →

QRコード以外からも受付しますので、財政管財課 施設管理グループまでお問い合わせください。お寄せいただいたご意見・ご感想は、今後の参考にさせていただきます。

※扶桑町公共施設総合管理計画は、町ホームページで確認できます。